

定員 100 名(事前登録制・先着順、参加無料)

次世代エネルギーシステムセミナー

「水素エネルギー」の利活用、その大いなる可能性

主催：愛知県

国は、平成 26 年 4 月に閣議決定したエネルギー基本計画の中で、将来の二次エネルギー(用途に合わせて利用しやすいよう加工されたエネルギー)では、電気、熱に加え、水素が中心的役割を担うことが期待されるとし、水素を本格的に利活用する「水素社会」を実現するための取組を戦略的に進める方針を示しました。

水素エネルギーの利活用技術は、既に実用化段階にある燃料電池自動車 (FCV) や家庭用燃料電池システムだけでなく、船舶や鉄道等を含む他の輸送分野、水素発電等、わが国のエネルギー消費分野の多くに対応し得るポテンシャルがあり、水素の利活用を抜本的に拡大することで、大幅な省エネルギーや環境負荷低減、エネルギー・セキュリティの向上に大きく貢献するとともに、新たな市場を開拓できる可能性があるとされています。

こうした水素エネルギーの可能性について理解を深め、本格的な利活用につなげるため、有識者によるセミナーを開催します。

■日 時 平成 27 年 2 月 16 日 (月)
14:30~16:50 (開場 14:00)

■場 所 栄ガスビル (5階 501 会議室)
(名古屋市中区栄三丁目 15-33)

■講 師 (独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構 主任研究員

大平 英二 氏 (プロフィールは裏面)

「水素社会の実現に向けて」

岩谷産業(株) 水素エネルギー部 シニアマネージャー

梶原 昌高 氏 (プロフィールは裏面)

「水素インフラ整備への取組について」



●申込方法

「団体名*」、「所属*」、「氏名」、「住所」、「電話番号」を記入の上、はがき、FAX (様式は裏面)、Eメールにより下記へお申し込みください (*は該当する場合のみ)。

●申込先・お問い合わせ

〒460-8501 (住所記載不要) 愛知県 知事政策局 企画課 企画第三グループ

TEL : 052-954-6091 (ダイヤルイン) FAX : 052-971-4723 E-MAIL : kikaku@pref.aichi.lg.jp

注) 参加決定通知は行いません。定員を超えた場合は、参加いただけない方へご連絡します。

■講師プロフィール

大平 英二 (おおひら えいじ)

1992年東京理科大学理学部卒。同年4月、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）入構。1997年マサチューセッツ工科大学 国際研究所 派遣研究員、2001年経済産業省 2008年バンコク事務所 次長、2011年スマートコミュニティ部 蓄電技術開発室 室長などを経て、2013年より現職（NEDO 新エネルギー部 燃料電池・水素グループ 主任研究員）。主な著作：『水素エネルギー社会実現に向けた取組』（OHM、オーム社）、『燃料電池普及に向けた取組状況』（工業材料、日刊工業出版プロダクション）

梶原 昌高 (かじわら まさたか)

1999年成蹊大学大学院工学研究科博士後期課程修了。同年4月、岩谷産業株式会社入社。2005年から水素エネルギー部で水素関連の技術開発に従事。現在、水素ステーション整備に向けた企画や普及啓発活動を担当。主な著作：『液化水素市場の現状とエネルギーとしての可能性』（水素エネルギーシステム、水素エネルギー協会）、『車載液体水素タンクのボイルオフ低減技術の開発』（自動車研究、（一財）自動車研究所）

■交通案内



- 名古屋市営地下鉄 東山線または名城線「栄」下車
西改札口より三越方面 サカエチカ6番出口
徒歩5分
- 名古屋市営地下鉄 名城線「矢場町」駅下車
北改札口より6番出口 徒歩3分



はじめよう 環境にやさしい 交通行動

※公共交通機関をご利用ください



※ FAXによるお申込の場合は、下記にご記入の上、送信してください。

次世代エネルギーシステムセミナー ～水素エネルギー～ 「参加申込書」
愛知県 知事政策局 企画課 企画第三グループ 行き (FAX : 052-971-4723)

	団体名	所属	氏名	住所	電話番号
1					
2					
3					
4					
5					